80 歳以上の超高齢心房細動患者におけるパルスフィールドアブレーションの安全性、抗凝固管理状況、および手技効率に関する後ろ向き観察研究

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡ください。

研究の目的と方法

心房細動に対するカテーテルアブレーションは一般的な治療ですが、80 歳以上の超高齢患者さんでは合併症のリスクが高くなることが知られています。近年、パルスフィールドアブレーション（PFA）は、周囲の臓器を傷つけにくい新しい治療法として期待されています。しかし、超高齢の患者さんにおける安全性や治療効率、抗凝固薬の使われ方などについては、まだ十分な情報がありません。

本研究では、当院で心房細動に対して PFA を受けられた患者さんの診療情報を解析し、80 歳以上の患者さんにおける安全性、周術期合併症、抗凝固薬の使用状況、手技時間を評価し、80 歳未満の患者さんと比較します。

診療を通じて記録された情報のみを使用します。この研究のために新たな検査や調査をお願いすることはありません。

研究の対象となる方

2024 年 1 月 1 日から 2026 年 08 月 31 日までに当院で心房細動に対してパルスフィールドアブレーション（PFA）を受けられた方

使用する試料・情報

年齢、性別、既往歴（高血圧・慢性腎臓病など）、CHA_2DS_2-VASc スコア、HAS-BLED スコア、抗凝固薬（DOAC の種類・用量）、手技時間（skin-to-skin 時間、カテ室退室時間）、周術期合併症（心タンポナーデ、脳梗塞、血管アクセス部合併症など）

使用開始予定日：2026 年 10 月 13 日

研究予定期間

2026 年 10 月 13 日～2027 年 3 月 31 日

個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。氏名や患者 ID などの個人を特定できる情報を削除し、研究用 ID を付して管理します。患者 ID と研究用 ID の対応表は適切に管理し、外部に漏れないよう取り扱います。本研究で得られた成果は学会や医学雑誌などで発表されることがありますが、お名前など個人を特定できる情報が公表されることはありません。

[研究情報管理責任者]循環器内科　吉村 拓巳
[個人情報管理責任者]院長　　中尾浩一

研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止するとともに、収集した情報等も可能な限り削除します。既に研究成果の公表後などで削除が困難な場合は、その旨

をご説明します。本研究への協力は患者さんの治療とは関係がなく、ご協力いただけない場合も不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することができます。

問い合わせ先	済生会熊本病院　循環器内科　吉村 拓巳 住所：熊本市南区近見 5 丁目 3 番 1 号　電話：096-351-8000（代表）